

イノシシ一直線？新捕獲檻

©朝日新聞社 2016年

46798号(日刊)



2016年(平成28年)
8月30日
火曜日

| 天気 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21(時) | |
|------|---|---|----|----|----|-------|-------|
| 水戸 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 80 31 |
| 宇都宮 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 23 30 |
| 前橋 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 21 60 |
| さいたま | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 22 60 |
| 千葉 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 32 70 |
| 東京 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 23 31 |
| 横浜 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 24 70 |
| 甲府 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 33 60 |
| 静岡 | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ | 24 31 |
| | | | | | | | 23 60 |
| | | | | | | | 32 60 |
| | | | | | | | 33 50 |
| | | | | | | | 24 |

朝日新聞東京本社

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

本日の編集長=山之上玲子

改良、誘い込む焼きイモ装置も

今までは…戸落とす仕組み見破りまたいで遊ぶ

茂原市の発明家と長柄町の農家が協力してイノシシの捕獲檻を改良した。これまではイノシシが入っても逃げられることが多かったが、改良した檻では確実にイノシシを捕獲できるという。おびき寄せるための焼きイモ装置も考案した。



改良したイノシシの捕獲檻を前に大塚誠一さん(左)と神崎好功さん(長柄町)

開発したのは、房総発明研究会会長の大塚誠一さん(70)と長柄町議の農業神崎好功さん(69)。捕獲は従来から箱檻を使ってきたが、思ったほど捕まらない。神崎さんが「どうしてなのか」とビデオカ

メラで調べたところ、イノシシが入ったところで檻の戸を落とす装置が働いていなかった。ピアノ線や釣り糸などを使い、イノシシが通るとひっかかる仕組みなのだが、装置を見破り、ピアノ線をまたいで遊ぶほどだったという。草などで隠しても効果はなかった。「イノシシはとにかく頭がいい」という。

そこで知人の大塚さんに、扉を落とす装置の改良を依頼した。大塚さんは機械の設計が専門。会社退職後は社会に役立つシステムの構築に力を入れている。昨夏から2人で実験や確認を繰り返してできたのが

た装置は、檻に入ったら光電式センサーで検知し、エアシリンダーで戸を落とす仕組み。光は気づかれにくい昼光色に近い色にした。

センサーは枯れ葉が落ちてきたぐらいでは、作動しないように二重にした。

電源は単三電池8本。エアシリンダーの空気を高めるのに自転車のタイヤ用空気ポンプを使う。風雨にさらされることを考えて頑丈にする一方、軽く運びやすくしたという。

1月から2月にかけて試作品を置いたところ2週間で2頭を捕獲できた。現在はさらに改良した檻2台を製作中。市販することを考えているが、「価格はなるべく安くしたい」という。

2人はイノシシの好きなえさについても調べた。1位はタケノコ、2位はサツマイモなどのイモ類、3位は稲だった。これを元にイノシシをおびき寄せるための装置も考案した。炭を使ってサツマイモを焼く装置で、山火事などにならないように安全性に十分考慮した上で、持ち運びしやすくなったという。2人はさらに、イノシシを捕獲したあとの処理についても研究を進めている。(稲田博一)